

I 調査検討会の趣旨及び目的

1 開催要綱

(1) 趣旨及び目的

次世代携帯電話、WiMAX、高帯域無線 LAN など移動体無線通信システムの急速な進展によって、従来困難であった車などの移動体においても高速インターネット接続、画像伝送、動画伝送等が可能となっている。

そのため、固定オフィスを構えることが困難な地域や状況において、高度な情報通信機能を有し、地域のニーズに即した様々なモバイルオフィスの利活用モデルを提案し、併せて地方自治体や地元企業などが当該モデルを実現するために必要となる要件等を明らかにすることより、地域の活性化に資する移動体無線通信システムの利用促進、ユビキタス ITS の実用化を図ることを目的とする。

(2) 名称

「車内におけるモバイルオフィスの高度化に関する調査検討会」（略称:モバイルオフィスの高度化に関する調査検討会）と称する。

(3) 調査検討項目

平成 21 年度「車内におけるモバイルオフィスの高度化に関する調査検討会」において課題とされた事項などについて、安全・安心、より高い実現性及び移動体通信の利用拡大を観点として更なる検討を深めるとともに、各システムを幅広く応用した多彩な利活用モデルを示し、地域におけるモバイルオフィスのあるべき姿を提言する。

1. 公的分野の利活用モデルとして、平成 21 年度にとりまとめた利活用モデルを実現するために必要となる以下の調査検討を行う。
 - (ア) 都市部と過疎地域の公共サービス格差解消に繋がるモバイル支所など、自治体の基幹系業務における移動体通信の実利用を促進するための課題（セキュリティ確保など）の検討。
 - (イ) 災害現場確認支援のための情報通信システムについて、平時におけるモバイル支所における利活用（システム応用）の検討。
2. 平成 21 年度にとりまとめたマラソン大会におけるモバイルオフィスについて、ランナーの安全に関する機能（心拍センサーによる健康状態の監視機能）の検証を行うとともに、大会運営の効率化に繋がる付加価値の検討を含め、より実現性の高い有効で経済的な利活用モデル（地域で開催される中小規模のマラソン大会での利活用等）とするための調査検討を行う。

3. 調査検討会でとりまとめられた個別利活用モデルを基に、その幅広い応用(クラウド技術の活用)等について検討するとともに、こうした利活用モデルの実用化による社会的効果などを「地域におけるモバイルオフィスのあるべき姿」としてとりまとめを行う。

(4) 構成及び運営

1. 本会の構成員は、別紙 1 のとおりとする。
2. 本会に、座長を置く。座長は構成員の互選により選出する。
3. 座長は、本会を招集し主宰する。
4. 座長は、必要と認められる者を構成員として追加することができる。
5. 座長は、必要と認められる者を本会に出席させることができる。
6. 本会に、調査検討を円滑に進めるための WG（ワーキンググループ）を置き、その構成等は本会で決定する。
7. その他、会の運営に必要な事項は座長が定める。

(5) 開催期間等

1. 本会の開催期間は、平成 23 年 3 月末までとする。
2. 開催予定スケジュールは別紙 2 のとおりとする。

(6) 庶務

1. 本会の事務局は東海総合通信局無線通信部企画調整課に置く。
2. 事務局は、その事務の一部を外部へ委託することができる。

2 開催要綱別紙

(1) 別紙1 構成員名簿

氏名	所属	備考
あおうまこと 栗生万琴	株式会社パソナテック部長	
あかさきまきこ 赤崎まき子	株式会社エイワークス社長	
いさかたかゆき 井坂孝之	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 東海支社法人営業部次長	第一回調査検討会まで
いぬいあきら 乾 暁	ひまわりネットワーク株式会社 システム部長代理	
えのもとえいき 榎本栄貴	1/1 より所属変更 ㈱コミュニティーネットワークセンター事業開 発部 主任研究員	12/31 まで 株式会社キャッチネットワーク技術 部 基盤設備グループリーダー
おのつねお 小野恒夫	1/1 より所属変更 ITS 開発部第4開発室 担当次長	12/31 まで 株式会社デンソーITS 開発部第二開 発室主幹
すぎうらふみお 杉浦二三男	安城市企画部情報システム課長	
なすいちろう 那須一郎	豊田市総務部情報システム課長	
ほんまるかつや 本丸勝也	リベラ株式会社技術開発部部長代理	
みずのよしのり 水野好則	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海支社 法人営業部ソリューション担当部長	第二回調査検討会より
もりかわたかゆき 森川高行	国立大学法人名古屋大学大学院環境学研究科 教授	
やまもとあきひこ 山本明彦	富士通株式会社自動車ビジネス本部 テレマティックス営業部主任	
よしざわか なこ 吉澤加奈子	NPO 法人ウーマンリビングサポート代表理事 (コカラウィメンズクリニック院長)	
わかやまゆういち 若山裕一	ITS アライアンス株式会社代表取締役社長	
わたなべまさみ 渡辺全美	株式会社アルヴァス代表取締役	

(五十音順、敬称略)

(2) 別紙 2 開催予定スケジュール

平成 22 年 5 月 第一回調査検討会(利活用モデルの機能検証)
平成 22 年 10 月 第二回調査検討会(本年度利活用モデルのとりまとめ)
平成 23 年 1 月 第三回調査検討会(幅広い利活用モデル・あるべき姿の検討)
平成 23 年 3 月 第四回調査検討会(報告書のとりまとめ)

注1 WG は検討の状況を踏まえ、複数回適宜開催

注2 第二回調査検討会は、利活用モデルの機能検証作業の進捗により開催時期を調整する。

3 ワーキンググループ

●公的分野における利活用 WG

担当

乾 暁・・・ひまわりネットワーク株式会社システム部長代理

榎本栄貴・・・キャッチネットワーク株式会社管理本部技術統括室長

(平成 22 年 12 月 31 日まで)

株式会社コミュニティーネットワークセンター事業開発部

(平成 23 年 1 月 1 日より)

渡邊全美・・・株式会社アルヴェアス代表取締役

連携

安城市,豊田市,富士通株式会社

●野外イベントにおける利活用 WG

担当

本丸勝也・・・リベラ株式会社技術開発部部長代理

吉澤加奈子・・・NPO 法人ウーマンリビングサポート代表理事

連携

ITS アライアンス株式会社

●利活用モデル応用 WG

担当

山本明彦・・・富士通株式会社自動車ビジネス本部テレマティックス営業部主任

若山裕一・・・ITS アライアンス株式会社代表取締役社長

連携

全 WG

●モバイルオフィスの在り方WG

担当

栗生万琴・・・株式会社パソナテック部長

井坂孝之・・・株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海支社法人営業部次長

(第一回調査検討会まで)

水野好則・・・株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ東海支社法人営業部ソリューション

担当部長 (第二回調査検討会より)

連携

全WG